資料1

1）クリーンプラザよこて運営状況について

出展元：株式会社よこてEサービス

①平成30年度上半期（4月～9月）の環境モニタリング結果

1.排ガス測定

7月の一酸化炭素測定において1号炉の測定値が保証値を超過しました。

原因は、焼却炉へ投入するごみの水分が夏季で多く含まれていたためであり、ごみ供給量を調整することで燃焼が適切となり、連続分析計による測定値でも状況が改善されたことを確認しています。

一酸化炭素濃度と関連するダイオキシン類濃度は、7月同日に測定しておりましたが、保証値を満たしていることから環境へ影響ないことが確認されています。

測定の位置	月	測定の結果					
		ばいじん（g/㎥N）	窒素酸化物（ppm）	塩化水素（ppm）	硫黄酸化物（ppm）	一酸化炭素（ppm）	水銀（μg/㎥）
排ガス（1号炉）	4月	＜0.001	49	38	11	4	2.7
	5月	―	―	―	9.9	―	―
	7月	＜0.001	53	22	8	24	3.8
	10月	＜0.001	43	19	10	4	1.1
	1月						
	2月	―	―	―		―	―
排ガス（2号炉）	4月	＜0.001	56	47	10	8	1.3
	5月	―	―	―	10	―	―
	7月	＜0.001	54	10	2.6	2	6.0
	10月	＜0.001	44	35	16	4	3.7
	1月						
	2月	―	―	―		―	―
基準値（保証値）		0.007	80	50	30	20	―
基準値（法規制値）		0.15	250	430	約6,000	100	50

※ばいじん濃度、窒素酸化物、塩化水素についての結果は酸素濃度12%換算値

※一酸化炭素は4時間平均値

※空欄は測定予定、”ー”は測定が予定されていないことを示します。

※参考（単位解説）

g/㎥（グラムパー立法メートル）

1立法メートル当たりに含まれる量（密度）

ppm（ピーピーエム）

百万分のいくつであるかを表す語。濃度や成分比の単位。百万分率。

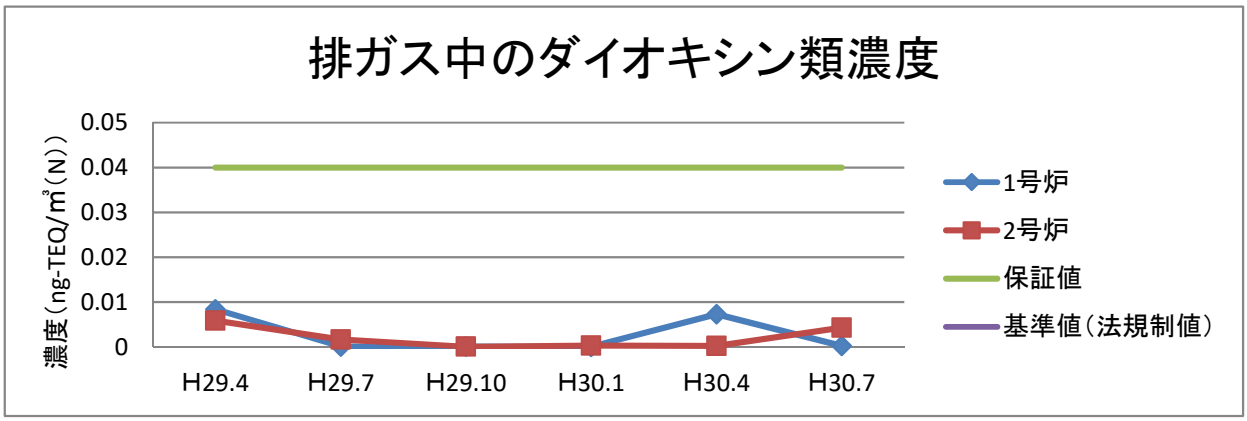
μg/㎥（マイクログラムパー立法メートル）

1立法メートル当たりに含まれる量（密度）、マイクログラムは1グラムの100万分の1。

2.排ガス中のダイオキシン類濃度（ng-TEQ/g）

	H29.4	H29.7	H29.10	H30.1	H30.4	H30.7
1号炉	0.0084	0.000082	0.000086	0.000068	0.0073	0.00025
2号炉	0.0059	0.0017	0.000087	0.00033	0.00029	0.0043
保証値	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
基準値（法規制値）	5	5	5	5	5	5

測定値は基準値を満たしています。



※参考（単位解説）

ng-TEQ/㎥：ナノグラム　ティーイーキュー　パー　立法メートル

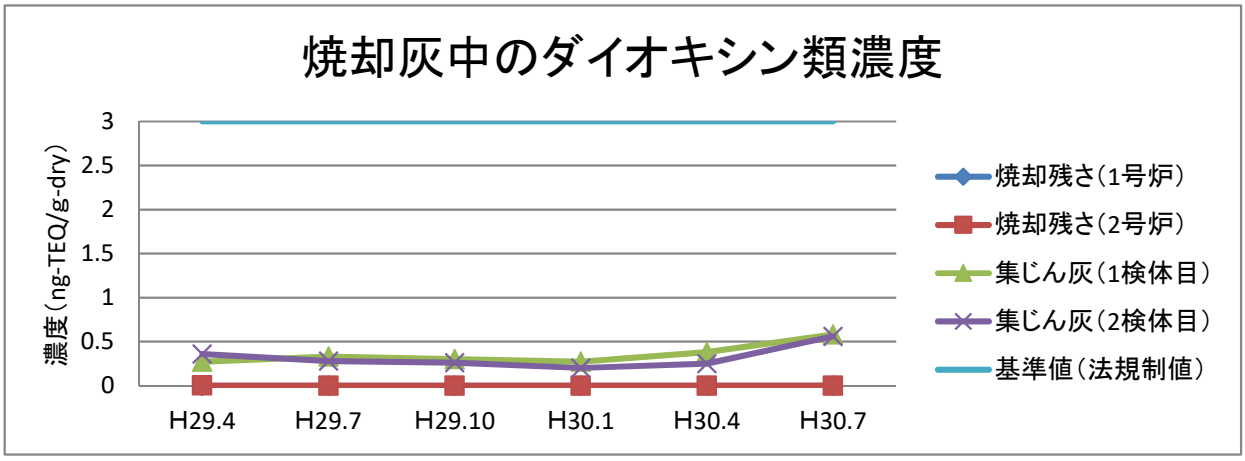
1立法メートル当たりに含まれる量（密度）、ナノグラム＝1グラムの10億分の1

TEQ＝毒性等量。ダイオキシン類は複数の種類があり、量で比較すると危険度が把握できないことから、最も毒性が強い2，3，7，8－TCDDの毒性に換算して比較するための単位。

3.焼却灰中のダイオキシン類濃度（ng-TEQ/g-dry）

	H29.4	H29.7	H29.10	H30.1	H30.4	H30.7
焼却残さ（1号炉）	0	0	0	0	0	0
焼却残さ（2号炉）	0.00063	0	0	0	0	0.000012
集じん灰（1検体目	0.27	0.33	0.30	0.27	0.38	0.58
集じん灰（2検体目	0.36	0.28	0.26	0.20	0.25	0.56
基準値（法規制値）	3	3	3	3	3	3

測定値は基準値を満たしています。



※参考（単位解説）

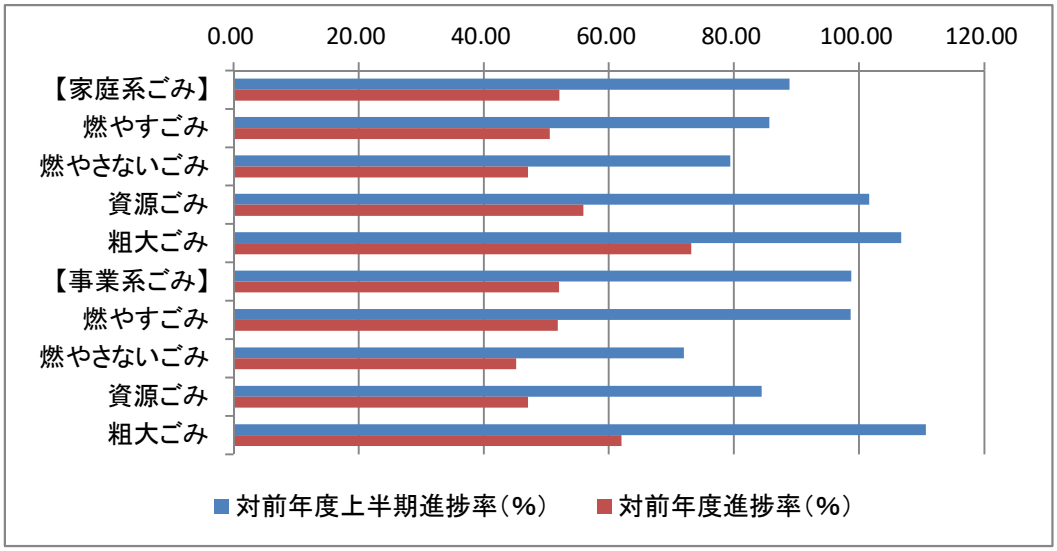
ng-TEQ/g-dry：ナノグラム　ティーイーキュー　パー　グラム　ドライ

乾燥させた1グラムの試料に含まれる量（密度）、ナノグラム＝1グラムの10億分の1

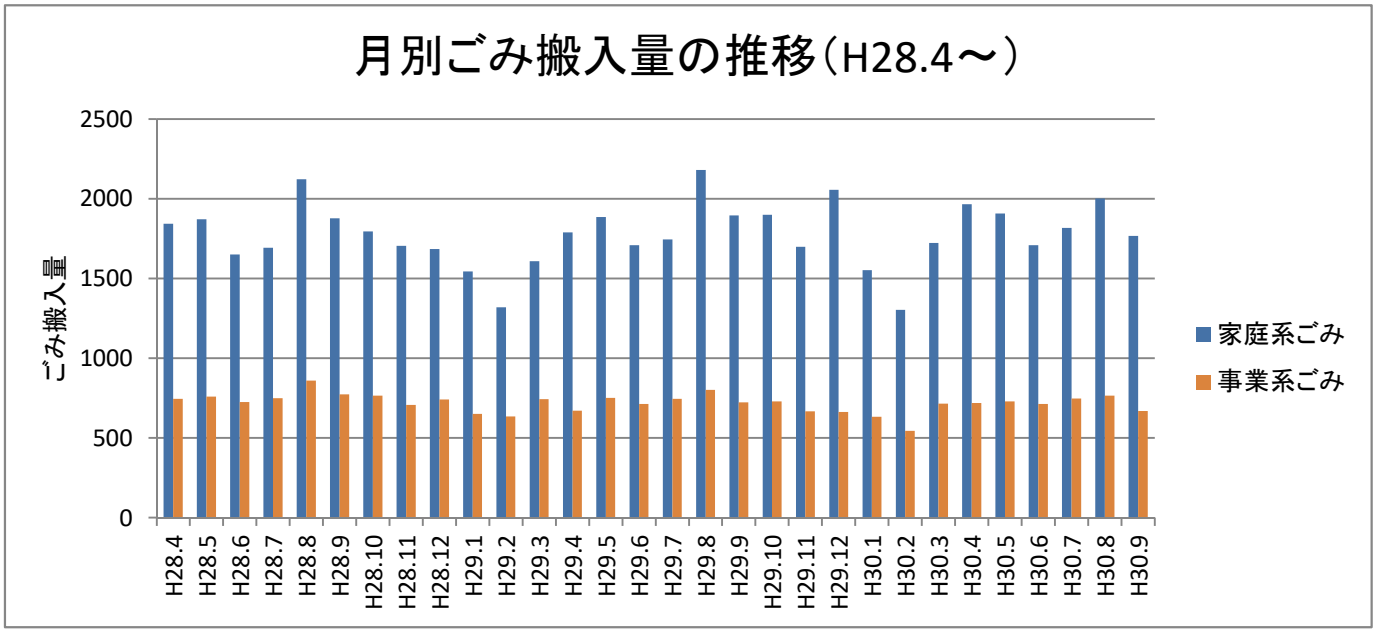
②平成30年度上半期（4月～9月）の運転実績

1.ごみ搬入量
ごみ搬入量（t）

	H29総量	H29上半期	H30上半期	対前年度進捗率（%）	対前年度上半期進捗率（%）
【家庭系ごみ】	21432.21	12563.78	11165.11	52.10	88.87
燃やすごみ	16934.86	9995.58	8563.43	50.57	85.67
燃やさないごみ	221.49	131.24	104.24	47.06	79.43
資源ごみ	3664.37	2017.73	2050.04	55.95	101.60
粗大ごみ	611.50	419.23	447.40	73.17	106.72
【事業系ごみ】	8352.74	4400.64	4345.47	52.02	98.75
燃やすごみ	8049.55	4230.69	4174.34	51.86	98.67
燃やさないごみ	4.78	3.00	2.16	45.19	72.00
資源ごみ	107.73	60.11	50.74	47.10	84.41
粗大ごみ	190.68	106.84	118.23	62.00	110.66



月別ごみ搬入量の推移（H28.4～）

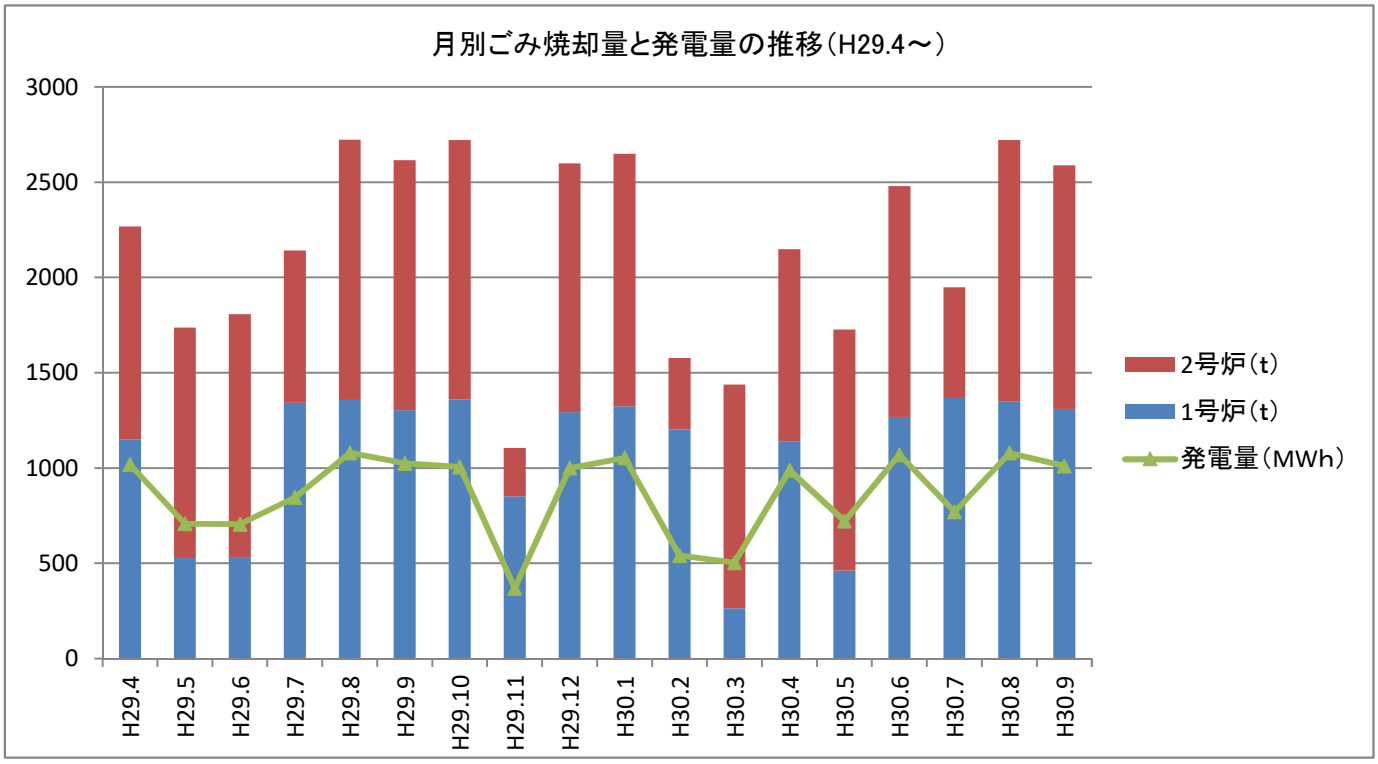


2.焼却量及び発電量

5月は1号炉及び7月は2号炉の定期整備のため焼却炉を停止したことから、焼却量及び発電電力量が低下しています。

焼却量及び発電量

	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30上半期
1号炉(t)	1140.49	461.22	1268.25	1367.09	1350.51	1309.78	6897.34
2号炉(t)	1007.09	1264.71	1211.82	581.67	1370.37	1279.20	6714.86
発電量(MWh)	987.80	721.19	1069.58	769.85	1078.52	1010.60	5637.54



※参考(単位解説)

MWh:メガワットアワー

1時間当たりの発電量を表す単位(1時間当たりに使う電力量も同じ単位を使用)。

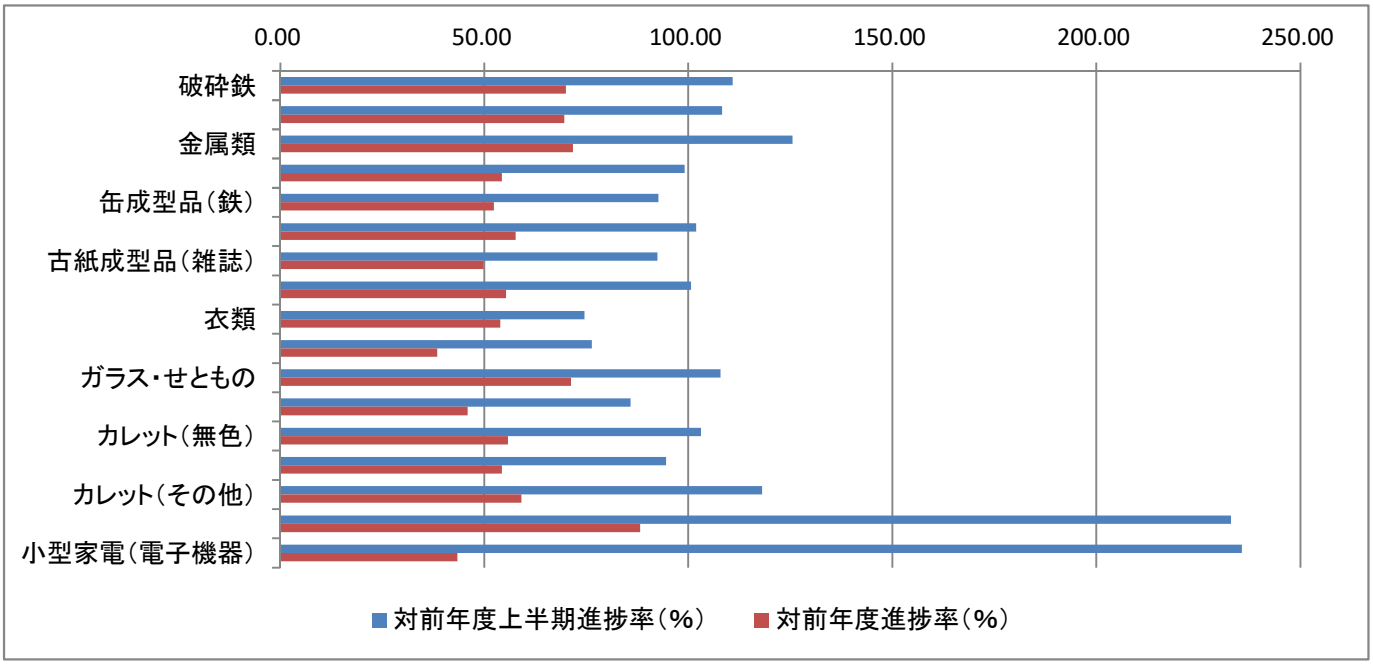
1メガワットは、1,000キロワット。

③資源物等の搬出量

1.資源物搬出量(t)

	H29総量	H29上半期	H30上半期	対前年度進捗率(%)	対前年度上半期進捗率(%)
破砕鉄	136.51	86.14	95.51	69.97	110.88
破砕アルミ	13.50	8.68	9.40	69.63	108.29
金属類	199.68	114.08	143.17	71.70	125.50
缶成型品(アルミ)	151.30	82.90	82.17	54.31	99.12
缶成型品(鉄)	97.16	54.87	50.84	52.33	92.66
古紙成型品(新聞)	547.06	309.68	315.66	57.70	101.93
古紙成型品(雑誌)	784.86	423.25	391.06	49.83	92.39
古紙成型品(ダンボール)	318.43	175.05	176.25	55.35	100.69
衣類	115.85	83.80	62.46	53.91	74.53
乾電池・蛍光灯	40.12	20.23	15.44	38.48	76.32
ガラス・せともの	251.86	166.40	179.46	71.25	107.85
生きびん	63.55	33.98	29.16	45.89	85.82
カレット(無色)	262.62	142.09	146.51	55.79	103.11
カレット(茶色)	293.05	168.28	159.05	54.27	94.52
カレット(その他)	113.33	56.69	66.95	59.08	118.10
小型家電(コード類)	5.68	2.15	5.01	88.20	233.02
小型家電(電子機器)	6.84	1.26	2.97	43.42	235.71

⇒ 色塗りの品目は売却収入のある品目



2.焼却灰搬出量(t)

	H29総量	H29上半期	H30上半期	対前年度進捗率(%)	対前年度上半期進捗率(%)
主灰	1608.32	864.04	767.79	47.74	88.86
飛灰	975.20	507.14	545.07	55.89	107.48

④平成30年度の改良・修繕実績

１．平成30年度11月までの改良・修繕実績は以下のとおりです。

	記
4　月	・特記事項なし
5　月	・(熱回収施設)№1ごみクレーン：開閉不良の点検整備。
6　月	・(建築)ランプウェイ：外壁補修、ひび割れ補修。 ・(熱回収施設)№1ごみクレーン：開閉不良の再点検及び調整。
7　月	・(2号焼却炉)ボイラ灰排出装置：スクリュー軸不具合、仮補修。
8　月	・(建築)リサイクルセンター及び熱回収施設床面：塗床はがれ補修。
9　月	・特記事項なし
10　月	・特記事項なし
11　月	・(2号焼却炉)ボイラ灰排出装置：スクリュー軸不具合、本補修。 ・(1,2号焼却炉)灰搬出装置：動作改善工事。
12　月	
1　月	
2　月	
3　月	

⑤平成30年度再生品の譲渡実績

1．再生品の無償譲渡について

「粗大ごみ」として搬入された家具類を、廃棄者の許可を得て再生品として提供しています。下表の件数のとおり再生及び無償譲渡を実施しています。

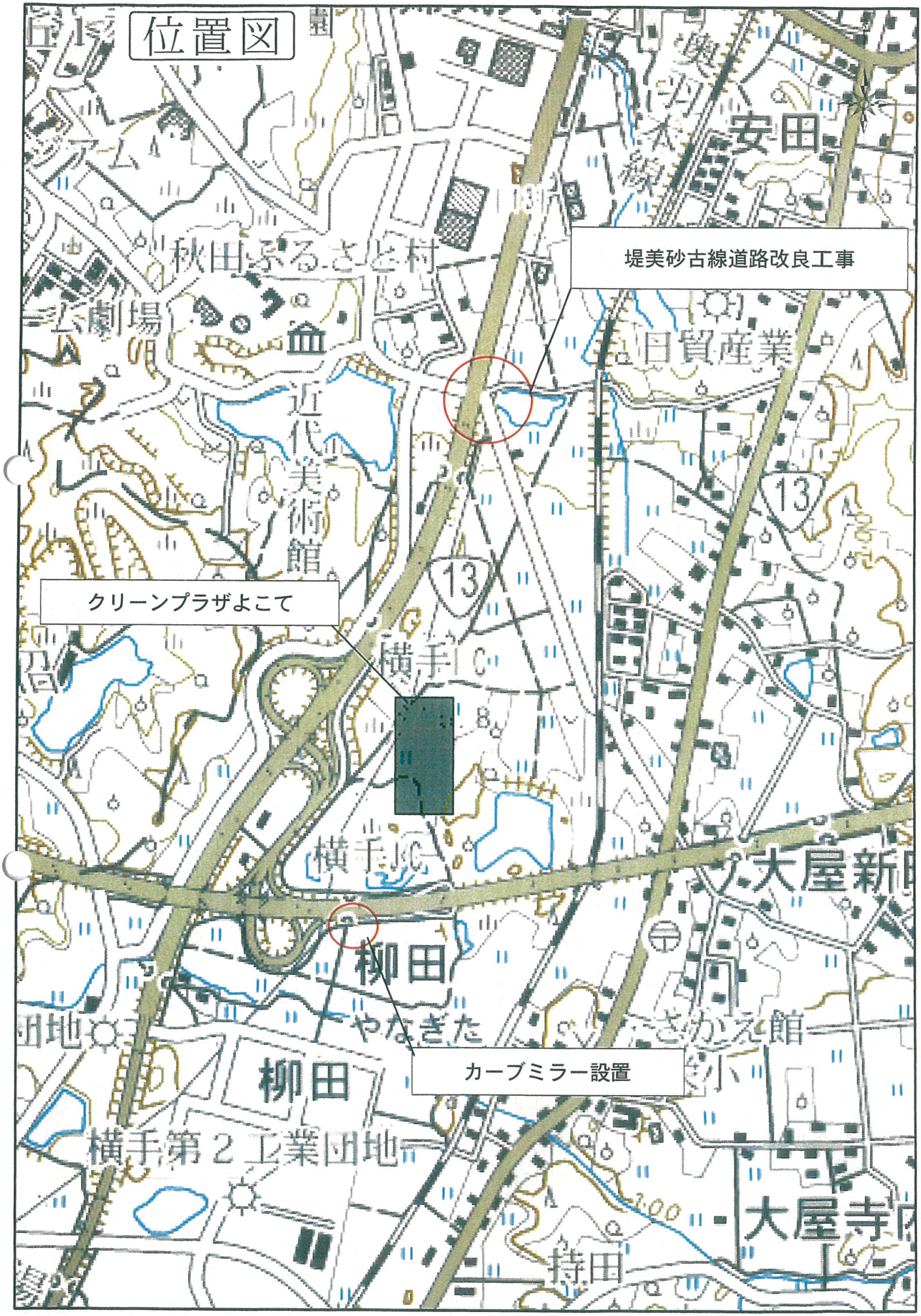
年4回の再生品提供会を実施しています。再生品は提供会2回に渡り抽選され、抽選漏れ品はその後2回の開催期間に渡り希望者に先着で譲渡されます。最終的に希望者のない再生品は処分いたします。

（単位：件）

			再生	譲渡	処分	翌年度持越し	実施内容
平成28年度		4月					準備期間
		5月					準備期間
		6月					準備期間
	第1回再生品提供	7月					準備期間
		8月	42				申込抽選受付
		9月		24			抽選会・当選品引取り
	第2回再生品提供	10月					準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		11月	60				申込抽選受付
		12月		39	5		抽選会・当選品引取り
	第3回再生品提供	1月		2			準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		2月	38	2			申込抽選受付
		3月		40			抽選会・当選品引取り
	年度計		140	107	5	28	
平成29年度	第1回再生品提供	4月		2			準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		5月	43	8			申込抽選受付
		6月		35	2		抽選会・当選品引取り
	第2回再生品提供	7月		4			準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		8月	47	1			申込抽選受付
		9月		46	3		抽選会・当選品引取り
	第3回再生品提供	10月					準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		11月	55	4			申込抽選受付
		12月		40	1		抽選会・当選品引取り
	第4回再生品提供	1月		8			準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		2月	57				申込抽選受付
		3月		37			抽選会・当選品引取り
	年度計		202	185	6	39	
平成30年度	第1回再生品提供	4月		17			準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		5月	68	1			申込抽選受付
		6月		46			抽選会・当選品引取り
	第2回再生品提供	7月		11			準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		8月	70				申込抽選受付
		9月		54			抽選会・当選品引取り
	第3回再生品提供	10月		18			準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		11月	71				申込抽選受付
		12月					抽選会・当選品引取り
	第4回再生品提供	1月					準備期間・前回抽選漏れ品の提供
		2月					申込抽選受付
		3月					抽選会・当選品引取り
	年度計		209	147	0		
合計			551	439	11	－	

資料2

位置図



北海道地図株式会社

0 100 200 300 400 500 m

1:12500

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の１地形図を使用したものである。（承認番号　平17 総使、第10-29号）」

資料 2-1

H30 建設課より情報提供

市道堤美砂古線大堤交差点改良工事について

～建設課からの情報～

【平成 30 年度工事の概要】

・工事名　／平成 30 年度　市道堤美砂古線道路改良工事

・工期　　／平成 30 年 8 月 6 日契約

平成 30 年 8 月 7 日～平成 31 年 3 月 29 日

・契約金額／70,146,000（税込）

・契約業者／伊藤建設工業株式会社

・H30 の進捗状況／工期内で完成予定・・・別紙工程表

・工事内容（平面図の朱書き部分）／施工延長　L=266.7m

地盤改良工、舗装工、防護柵工、護岸工、大型標識工、池部浚渫工

・国道へ接続し事業完了予定。

【完成後の周辺道路】

・堤防道路／歩行者、農耕車専用道路として供用（警察協議済み）

・現道／歩道部以外は閉鎖（除雪対象とはしない）

【その他】

・平成 30～32 年度は栄地区(クリプラ周辺)の市道改良等の予定はありません。

・国道 13 号（横手～十文字）の道路拡幅予定の具体な情報はありません

資料2-2

交通安全対策関係要望

要望内容	市道新藤柳田1号線と農道との交差点にカーブミラーを設置してほしい。
要望理由	軽トラックやトラクター等が農道から市道新藤柳田1号線に出る際、高速道路の法面と長いボックスがあるため、クリーンプラザよこて方向から来るごみ収集車等の車が車道の中央の方まで出ていかなければ見えず非常に危ない。危険防止のためカーブミラーを設置してほしい。 （H29.11.6　クリーンプラザよこて環境保全委員：阿部豊委員）
経過	横手地域課へ要望～阿部豊委員立会現場確認（H30.5.24）～H30.6.13設置完了
担当部署	横手市　まちづくり推進部　横手地域課

位置図

完成写真

H30.6.13
カーブミラー
設置

資料2−1別紙

工事名: 市道堤美砂古線道路改良工事
工　種:

着手前

着手前

着手前

道路土工
掘削状況

地盤改良工
セメント撹拌状況

下層路盤
転圧状況

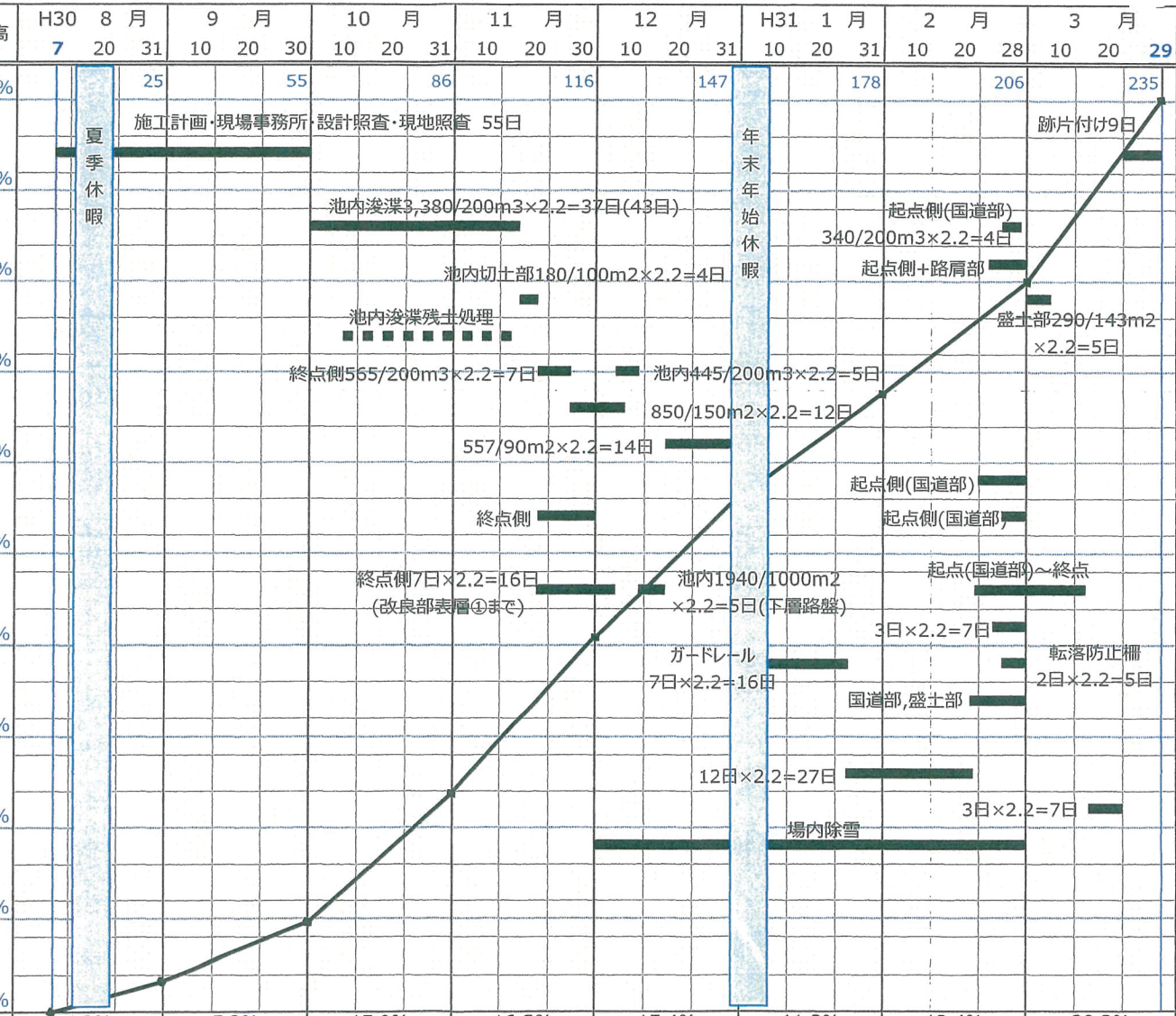
工事名 平成30年 市道堤美砂古線道路改良工事 DKK301-23

工期： 平成 30 年 8 月 7 日 ～ 平成 31 年 3 月 29 日 235 日間

計 画 工 程 表

請負会社 伊藤建設工業株式会社

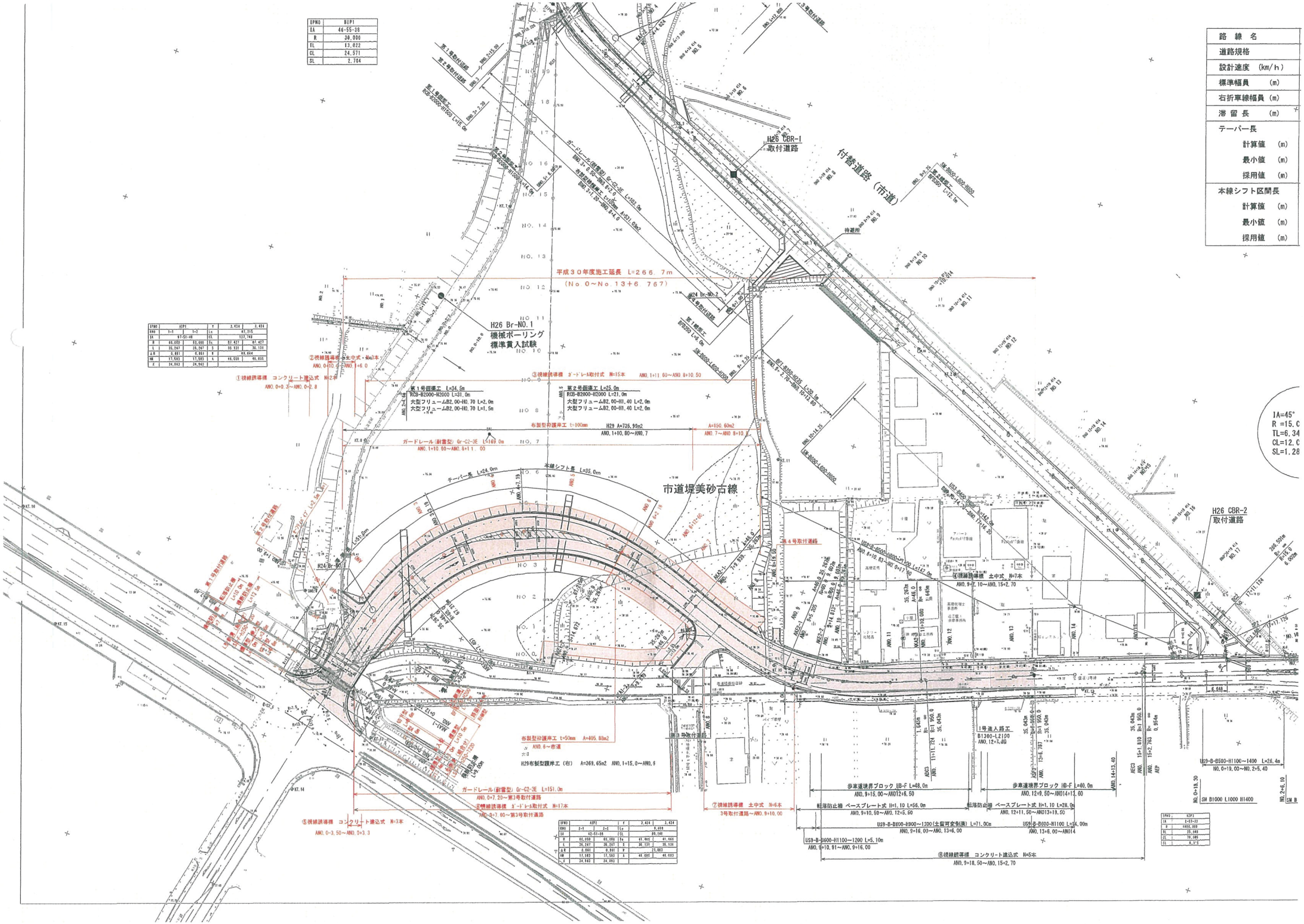
工種	設計数量 当初	設計数量 変更	出来高
道路改良			
準備工			
道路土工	1式		
掘削工	3,720m3		
盛土工	131m3		
法面整形工	800m2		
残土処理工	3,660m3		
地盤改良工	1,010m2		
法面工	850m2		
護岸工	557m2		
排水構造物工	1式		
構造物撤去工	1式		
舗装			
舗装工	1式		
取付道路工	1式		
防護柵工	354m		
道路付属物施設工	1式		
照明工	1基		
標識工	2基		
区画線工	993m		
仮設工	1式		



備考

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
※不稼働率は、土木工事共通仕様書より13.5日/月(2.22)とする。	当月予定出来高 ( ) 実績	4.2% (%)	5.2% (%)	15.0% (%)	16.3% (%)	15.4% (%)	11.3% (%)	12.4% (%)	20.2% (%)
	累計予定出来高 ( ) 実績	4.2% (%)	9.4% (%)	24.4% (%)	40.7% (%)	56.1% (%)	67.4% (%)	79.8% (%)	100.0% (%)

実績出来高は朱書きで記入する。計画工程表の下に実施工程表を記入し管理する。

IPNO	BIP1
IA	46-55-38
R	30.000
TL	13.022
CL	24.571
SL	2.764

路線名	
道路規格	
設計速度 (km/h)	
標準幅員 (m)	
右折車線幅員 (m)	
滞留長 (m)	
テーパー長	
計算値 (m)	
最小値 (m)	
採用値 (m)	
本線シフト区間長	
計算値 (m)	
最小値 (m)	
採用値 (m)